

九州大学 大型計算機センターニュース

No. 53

1973. 3. 9

福岡市東区大字箱崎
九州大学大型計算機センター
共同利用掛(TEL 092-64-1101)
内線 2256

目 次

- ・紙テープジョブの依頼について 1
- ・SSLのレベルアップについて 4

◇ 紙テープジョブの依頼について

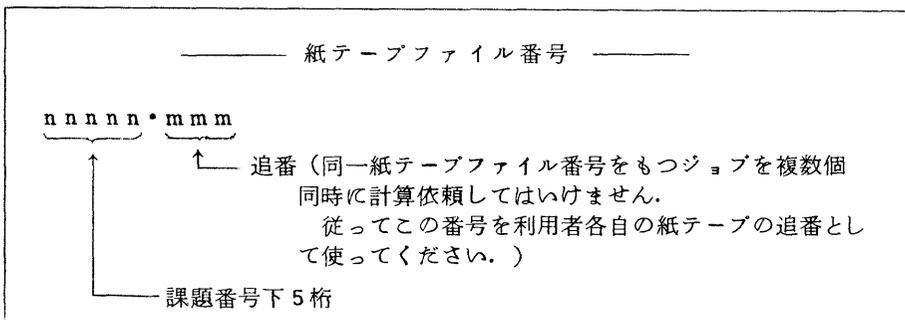
紙テープジョブ依頼について、昭和48年4月1日からの負担金徴収に伴ないコントロールカードと紙テープデータの与え方に次のような変更がありますので、紙テープジョブの利用者は特に注意して下さい。

1. コントロールカード \$PTR に <紙テープファイル番号>のパラメータが必要になります。

命 令	オ ペ ラ ン ド
\$ PTR	紙テープファイル番号

パラメータの説明

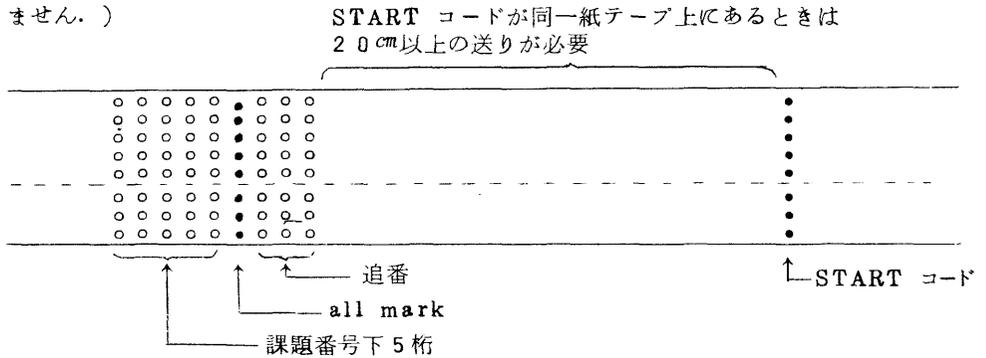
紙テープファイル番号： 5桁の数字と3桁の数字を・で区切ったもの
ジョブ依頼時の紙テープ上に与えるものと一致しなければなりません。



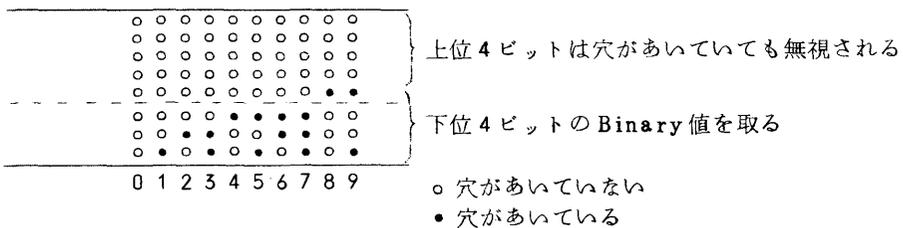
2. 紙テープデータには、紙テープの先頭に<紙テープファイル番号>を、また1本の紙テープ

の終りには<紙テープが次に続くか><それで終りとなるか>を指示するコードが必要となります。

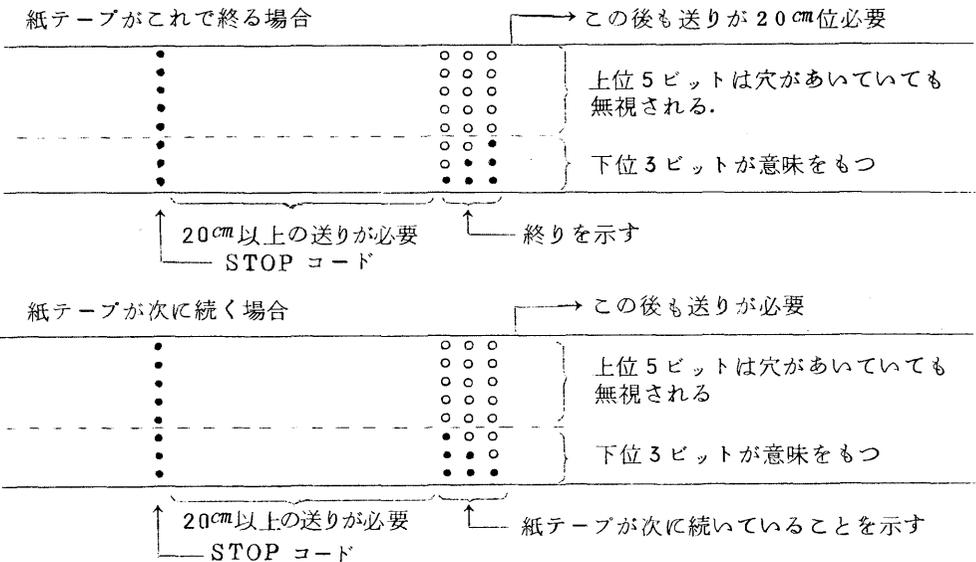
⑦ 紙テープファイル番号の与え方（紙テープが2本以上に渡る場合、2本目以降には必要ありません。）



課題番号下5桁および追番は Binary の値で示します。



⑧ 1本の紙テープの終りの情報の与え方



注) この仕様は4月1日からとなっておりますが、4月1日以前にこの要領で計算依頼されていても支障はありません。ただし、コントロールカード \$PTR の<紙テープファイル番号>の指定は4月1日からです。

また FORTRAN 実行時に紙テープデータを読取るサブルーチンとして新しく次の仕様のものが登録され 4 月 1 日より使用可能となります。ここにその紹介の意味で簡単に説明します。なお、詳細については“利用の手引 紙テープ編”を参照してください。

サブルーチン名	機能
TOPSET	読み込みの指針を指定のコードにセットする
PTREAD	紙テープ上のデータを 1 語に 4 桁ずつ読み込む
PTRCHR	紙テープ上のデータを 1 語に 1 桁ずつ読み込む
CHANGE	紙テープがそれで終了せず、次に続いているとき、紙テープのかけかえを指示する

CALL TOPSET (START)

START……読み込みの指針をこのコードの次にセットする。(スタートコード)

CALL PTREAD (AREA, N, STOP, I, J, ILL)

AREA……紙テープのデータを読み込んで格納する領域なので N 語の大きさが必要。

N……1 度に読み込むデータの数を語 (WORD) で指定する。
紙テープに穿孔されている 4 桁が 1 語のデータとなる。

STOP……テープの読み込みのストップを指示するコード (ストップコード)
データの区切りまたは終りを意味する。

I……配列 AREA に読み込んだデータの語数がセットされる。(整変数)
I=0 のときは指定した語数 (N) のデータ転送を終了し、かつ STOP コードが現われなかったことを示す。

J……I ≠ 0 のとき、I で示された語 (データが格納された最終語) の何番目の文字位置にストップコードがきたかを示す値がセットされる。(整変数)

ILL……サブルーチンから戻った状態を示す。(整変数)

ILL=0 正常処理
ILL=10000 READ エラー
ILL=20000 1 本の紙テープ終り

CALL PTRCHR (INPUT, N, ILL)

INPUT…変数名, 配列名, 配列要素名
紙テープデータが読み込まれる場所なので、N 語の大きさが必要

N……1 度に読み込むデータ数を指定する。

ILL……サブルーチンから戻った状態を示す。(整変数)

ILL=0 正常処理
ILL=10000 READ ERROR
ILL=20000 1 本の紙テープ終り

CALL CHANGE (ILL)

ILL……サブルーチンから戻った状態を示す。

ILL=0 正常処理
ILL=90000 次に続く紙テープがない

◇ SSLのレベルアップについて

現在使用中のSSLは

SSL. F-V4. L3

SSL. A-V4. L1

ですが, FORTRANがレベルアップされ, 3月12日より

SSL. F-V4. L4

SSL. A-V4. L1

となります。レベルアップの内容は以下のとおりです。

1. SSL. F-V4. L4でレベルアップされた項目及び内容

分類コード	プログラム名	レベルアップ内容	備考
C/004 } C/015	GAS3D } GAS32D	データセットを代入文よりDATA文に変更 使用コア容量, 演算速度が向上した。	レベルアップ
C/017 } C/039	GSL4S } GSL26D	データセットを代入文よりDATA文に変更 使用コア容量, 演算速度が向上した。	レベルアップ
G/014	DABAS DABAD	最大の元数は100であるが, この時内部で使用しているBAIR1S, BAIR1D(SS)の使用にミスがあった。 (100元の時, BAIR1Sの係数は101個必要)	プロミス を修正
I/007	SPLINS SPLIND	iLL=27000でReturnする時の状態の変更 (使用者は従来通り使用できる)	プロミス を修正
Z/007	POISNS	iLLの判定の追加 平均値AMはマニュアル通り. $10 \geq AM > 0$ である。	